



とびだす絵本「もっと たべるのだから？」  
すぎはらけいたろう(東京書店)

2024年

12月21日(土)

2025年

3月16日(日)

時間 / 9:30 ~ 17:00 ※最終受付 16:30

会場 / 横浜人形の家2階 多目的室

観覧料 / 大人 700円・小中学生 350円・未就学児無料

※上記に入館料(大人400円・小中学生200円)含む、未就学児は入館料も無料

休館日 / 毎週月曜日 ※1/13(月)・2/24(月)は祝日のため開館、翌火曜日に振替休館

年末年始 ※12/29(日)~1/3(金)

手に取って開くたびにイラストが立体的に飛び出す「しかけ絵本」。昔から変わらず絵本好きな子ども達に大人気ですが、昨今では大人がコレクションする等ちょっとしたブームとなっていて、古いものは美術工芸品としての価値を持つものもあります。

本展では「立体的に魅せる」ことに焦点を当て、明治・大正期に様々な立体模型をつくるために描かれた「組み上げ絵(立版古)」や昭和期に当時の少女たちの心を掴んだ紙製の姉妹人形を紹介しつつ、現在活躍中の絵本作家たちの最新しかけ絵本を展示します。

またご来場のお子様も、しかけ絵本を実際に手に取って楽しんでいただけるスペースも設置します。是非、親子で当館にお越しください。

立体が魅せる  
絵本アートの世界  
「組み上げ絵」から「しかけ絵本」まで



# 立体が魅せる 絵本アートの世界

「組み上げ絵」から「しかけ絵本」まで

2024年 12月21日(土) ▶ 2025年 3月16日(日) 9:30~17:00 ※最終受付 16:30

観覧料 / 大人 700円・小中学生 350円・未就学児無料 会場 / 横浜人形の家2階 多目的室  
休館日 / 毎週月曜日(1/13日・2/24日は祝日のため閉館、翌火曜日に振替休業)・年末年始(12/29日~1/3日)

## すぎはら けいたろう

絵本作家/グラフィックデザイナー  
絵本とデザインの仕事を中心に幅広いジャンルで活動中。様々な素材を組み合わせた作品は、ガラタを集めたオケストラのように、にぎやかで楽しいハーモニーを奏でる。  
とびだす絵本「たべるのだあれ?」(東京書店)がA' Design Award(イタリア)、Indigo Design Award(オランダ)で金賞、グッドデザイン賞、キッズデザイン賞、ポローニャ国際絵本原画展入選など受賞多数。



## 紙成 鳴美 Narumi Kaminari

ペーパークラフト作家  
しかけ、紙の技術を用いた新しい活用方法を探索する日々。  
映画やCM、TV番組のクラフトワークのほか、カレンダーやリーフレットといった企業販促ツール制作多数。設計を担当した飛び出す絵本「なないろロディ」(小学館)発売中。



## 北野 有里子 Yuriko Kitano

株式会社TOKYO NEEET代表/豆本ドールハウス作家  
小さな本(豆本)をくると開くとドールハウスになるしかけ絵本を制作・販売。  
作品との出逢いを通じて、お客様と豊かな感情と多くの出逢いや経験を分かち合い、共に人生の宝ものを増やして頂くことを理念として、国内の展示販売会のみならず、精力的に世界を飛び回っている。



## COCHAE (コチャエ)

「あそびのデザイン」をテーマに活動する軸原ヨウスケ、武田美貴、菅野沙耶(2020~)によるデザインユニット。2003年の結成当時の「グラフィック折紙」制作のほか、現在は新しい視点を持った玩具や雑貨の開発、商品企画/パッケージデザイン、展示やWSなど幅広い活動を行っている。著書に「折りCA」(青幻舎、2003~)シリーズ、「妖怪おりがみ」(講談社、2008)など多数。  
折り紙パズル「フェニーフェイスカード」がグッドデザイン賞受賞(2008)。「トントン紙ずもう」(KOKUYO、2012)グッドイ2013選定、「YAMA COFFEE」(ONSAAYA、2015)、「紅だるま」(佐藤紅商店、2017)がTOP AWARDS ASIAを受賞。



## 吉田 稔美 Toshimi Yoshida

絵本作家/イラストレーター  
1999年イタリア・ポローニャ国際絵本原画展入選。2000年ポローニャ2000 ブルーノ・ムナーリに選ばれたミレニウム展に入選するなど海外で高い評価を受ける。2001年に「のぞく」しかけ絵本である「ピープショー」作品の制作をはじめ、各地の美術館やギャラリーなどで展示。2008年より製品化し、うち2点がうらわ美術館所蔵となる。  
2020年ピープショーの研究やしかけ絵本等との関係を紹介する「ピープショーのぞきからくり」(玉川大学出版部)を刊行。



## 渡邊 千夏 Chinatsu Watanabe

グラフィックデザイナー/絵本作家/造形作家  
「しかけのグラフィックデザイン」をテーマに、独自のしかけによる作品を制作している。  
2014年より発売された「かがみのえほん」シリーズ(福音館書店)は、日本語以外に4言語に翻訳され、国内外で多数の賞を受賞し企画展が催されるなど、大きな反響を呼ぶ。2021年にはバリのエルメスより依頼を受け、新作フレグランス「Twilly d'Hermès Eau Ginger」のための鏡のしかけのブックレットや、世界各国で開催されたイベント会場のための大型ミラーワークのデザインを提供する。2023年、新しい構造のしかけ絵本「かたえほん おはなさん」(小学館)を発表。



## 関連イベント

### ミニ絵本をつくろう

横浜市青葉区にキャンパスがある横浜美術大学イラストレーションコースの皆さんと、手のひらサイズのミニ絵本をつくっていきましょう!

12月27日(金)・28日(土)

10:00-12:00・13:30-15:30

会場 / 3階イベントスペース 参加費 / 800円 \*当館入館料も必要  
申込 / 当日随時受付 \*各時間帯に直接会場へお越しください 定員 / 各日30名  
対象 / どなたでも \*未就学児には保護者がお付き添いください  
講師 / 横浜美術大学イラストレーションコース・絵本専攻 児玉一哉助手 ほか



### ラッピング絵本の交換会

ご自宅にある不要の絵本を1冊お持ちください。タイトルや中身が見えないようにイベント会場でラッピングをして、最後にその絵本に関する思い出やおススメコメントを添えたら交換する絵本の完成です! さっそく別のラッピング絵本と交換しましょう。



2月23日(日)・24日(祝) 9:30-12:30・13:00-15:30

会場 / 3階イベントスペース 参加費 / 無料 \*但し当館入館料が必要  
申込 / 当日随時受付 対象 / どなたでも \*未就学児には保護者がお付き添いください  
持ち物 / 交換したい絵本 \*破けていたり大きな汚れがある/付録や非常に愛護な絵本/漫画は不可 \*しかけ絵本でなくてもOK/多少のシマや汚れがあってもOK

## 展示協力



### しかけ絵本専門店「メッゲンドルファー」

2006年に日本で初めての「しかけ絵本専門店」として鎌倉にオープン。店舗内に作り方教室や展示コーナー等も設けており、しかけ絵本の魅力を広めて続けています。

【店舗ご案内】  
住所 / 神奈川県鎌倉市由比が浜2-9-61  
営業時間 / 10:00~18:00  
定休日 / 水曜日・年末年始



### しかけ絵本(カード)教室

初めての方でも楽しいしかけのカードを作ることができます! 簡単なしかけを覚えるだけで自分だけの楽しいカードができます。ご家族やご友人へのカードとして「しかけ」を覚えてみてはいかがでしょうか。(鎌倉の店舗で実施している教室とはほぼ同一内容です)



1月25日(土) ①11:00-12:00 ②13:00-14:00

会場 / 3階イベントスペース 参加費 / 1,200円(税込) \*当館入館料も必要  
申込 / 事前申込制  
対象 / どなたでも \*未就学児には保護者がお付き添いください  
定員 / 各回10名  
講師 / 嵐田康平(メッゲンドルファー代表)

## 横浜人形の家

〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町18  
TEL 045-671-9361  
https://www.doll-museum.jp/



アクセス ACCESS  
電車 / みなとみらい線「元町・中華街」駅 4番出口より徒歩3分  
JR根岸線「石川町」駅 元町口より徒歩13分  
バス / 市営バス8・58系統「山下町頭入口」下車、徒歩1分  
駐車場 PARKING  
普通車1時間につき500円  
\*平日のみ24時間最大1,200円/駐車枠はありませんでご注意ください

